

当初予算の審議を通じて 将来の津山市を問う!

問 今後、まちづくりを進めていくためには、財政の構造を改革する必要があると思うが、市長の考えは?

答 人口減少、少子高齢化などの課題を克服し、豊かさを実感しながら安心して住み続けられるまちづくり、また様々な災害などから速やかに復旧できるまちづくりを推進するためには、さらなる財源確保が必要である。

6月定例会において、健全な財政運営に向けた私の考えなどをお示しし、将来を見据えたさらなる**財政構造改革に不退転の決意をもって取り組む所存である。**



まちづくりを行う財源の確保に対する考えは?

問 令和4年度の津山市の教育における重点項目は?

答 学力向上については、課題である読解力の向上のため、全校に導入するAIドリルの活用や読書活動の推進等に取り組む。

喫緊の課題である不登校・長期欠席については、市内4中学校をモデル校として、教室への入りづらさを抱える生徒の居場所を、校内に作り支援する新たな対策を進める。

その他、様々な取組を通じ、**何事にも前向きに挑戦する意欲と優しさをもった心豊かな子どもたちを育てていきたい。**



コンピューターを使ったテストを試験的に実施

問 令和4年度の新型コロナウイルス感染症対策事業の主な内容と予算額は?

答 ワクチン接種事業やこれに関連するワクチン接種協力医療機関等への支援事業、また、保育所、幼稚園、こども園、放課後児童クラブなどでの感染防止対策を行う。

これらをはじめとした対策事業に令和4年度予算では、**14事業、約9億5,000万円を計上している。**



岡山県が発行している啓発リーフレット



令和4年度当初予算を可決 津山市のお金、どう使う?



予算総額

816億3900万円

前年度から約7億7100万円減りました

本年2月に市長選挙が行われたことから、政策的判断を必要とする新規施策などを省いた骨格予算として提案されました。(次回の6月定例会で補正予算として追加事業が提案される予定です)

一般会計

449億7700万円

前年度から約7億2600万円減りました

特別会計

221億7700万円

前年度から約3億9300万円増えました

財産区会計

4300万円

前年度から約900万円増えました

企業会計

144億4200万円

前年度から約4億4700万円減りました

3月定例会で総額約816億円からなる令和4年度予算が提案され、慎重なる審議の結果、原案のとおり可決しました。

令和4年度の津山市のお金の使い方について議論した議会の様子を一部お伝えします。

(予算の詳細は広報津山5月号や市ホームページに公開されていますので、あわせてご覧ください)



広報津山5月号



当初予算の概要

スマートフォン等で読み取ると
関連するページにつながります

用語の説明

- 一般会計 福祉や教育、道路整備や産業の振興など、基本的な事業を行う会計
- 特別会計 介護保険事業や国民健康事業など特定の事業を行うため、特定の収入をその支出に企てるよう経理が独立している会計
- 企業会計 水道事業、下水道事業などの公営企業における会計で一般会計から切り離された会計
- 財産区会計 所有する山林などの管理処分を目的とした、地方公共団体の特別な会計